

株式会社エンプラス

(証券コード:6961)



よりよき明日を目指して

平成25年3月期 (第52期) 報告書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

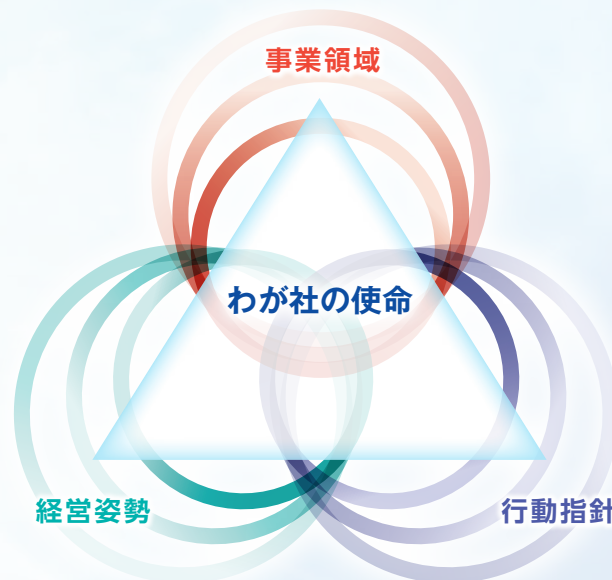
enplas



株式会社エンプラス

Contents

- 01. 企業理念
- 02. 株主の皆様へ
- 04. 連結業績の推移
- 05. 事業別概況
- 07. 特集 エンプラ事業
- 08. 連結財務の状況
- 09. 会社概要／株式情報
- 10. 株主メモ
- 11. 拠点・グループ会社



わが社の使命

信頼の絆をもとに、あらゆる変化に対応する強靱な経営基盤を堅持し、

1. お客さまに感謝される製品とサービスを提供します。
2. 能力と成果を公正に評価し、社員の生きがいを育みます。
3. 株主の皆さまの期待に応え、企業価値の向上を目指します。

これらの実践を通して豊かな社会の発展に貢献します。

事業領域

エンジニアリングプラスチックで培った先進技術をもとに、さらに最先端技術を追求し、創造的価値を世界市場に提供します。

経営姿勢

1. 卓越した技術と信頼される製品により、競争力と成長力を追求します。
2. 健全な財務体質により着実な発展を図ります。
3. 全ての企業活動において確かな品質に責任を持ちます。

行動指針

1. 創造的な目標を掲げ、情熱を持って挑戦します。
2. 感謝の心と学ぶ姿勢を大切にします。
3. 公私を明確にし、公明正大に行動します。

株主の皆様へ

当社は、創業以来培ってきたエンジニアリングプラスチック総合技術のさらなる先進化と活用により、常に高精度、高機能、高品質を追求し、お客様に感謝されるより良い製品とサービスの提供を通して社会の発展に貢献してまいります。



代表取締役社長 横田大輔

Q 当期の事業環境についてお話しください。

当社のコア事業であるエンブラ事業関連では、電子部品業界におきましては、OA機器関連が世界的な需要の失速により低迷、自動車部品業界は、米国における自動車の生産・販売台数が回復し、日本でも急回復を遂げました。また、テレビ業界では、LEDを光源とする液晶テレビが光源直下型タイプで低コスト化を実現させたことで、市場の流れは低コスト化に向かっています。半導体業界は、PCの成長が終焉を迎え、代わって台頭したスマートフォンやタブレット用途が好調に推移いたしました。

Q グローバル市場は競争が激化するばかりですが、当期の事業活動についてどのような施策を実行されたのでしょうか。

まず、「経営基盤の強化」を経営基本方針として掲げま

した。具体的には経営基盤を強くするための要素である「顧客基盤」「ものづくり基盤」「創造基盤」「品質基盤」「財務基盤」の強化を図り、各種の施策を実行してまいりました。市場メインプレーヤーに対するグローバル営業の強化、需要が増大するLED用拡散レンズの安定供給に向けたグローバル生産体制の強化、グローバル調達によるコスト低減、さらには新事業開発の取り組みの強化です。

また、2012年4月からは、中国とアジア地域の旗艦工場となる上海新工場の本格稼働を開始、2011年のタイ洪水後に生産を開始したタイのピントン新工場も垂直立ち上げから安定稼働へと移行を遂げ、成長するアジア市場の需要取り込みに貢献いたしました。

これらの結果として、V字回復を果たし、投資回収も徹底し、リーマンショック以前の利益構造を凌ぐ体質へと生まれ変わることができました。

株主の皆様へ

Q 今期(第53期)の取り組みについてお話しください。

当社グループは、中長期的な経営戦略の基本方針として、エンプラス事業を中心とした各事業の成長軌道への早期回復や、本格的なグローバル経営の実践による「グローバル・エンプラス」の実現と、コア技術をベースとする新しい企業成長基盤づくりを掲げています。

これらの実現に向けて、以下3つを今期(第53期)経営基本方針と定め、積極的な事業活動を展開してまいります。

- ①新製品・新領域への挑戦による成長の実現
- ②強い事業、持続可能な事業の裏付けとなる要素技術と、技術理論の確立を目指した先端技術の追求
- ③グローバルベースでの迅速かつ効率的な経営判断を可能とする、グローバル経営基盤の強化



中国、アジア地域の旗艦工場となる上海新工場

Q 利益還元についてお願いします。

当社は、健全・堅実な経営により、強固な財務体質を堅持しております。経営活動の成果は、明確な形で株主の皆様

第53期経営基本方針

- 新製品・新領域への挑戦による成長実現
- 先端技術の追求
- グローバル経営基盤の強化

様に還元することを基本方針とし、また安定的配当の考え方も取り入れた上で今期以降の業績予想を勘案し、配当を決定しております。

内部留保しております資金についてですが、中長期的展望に立って生産設備投資や研究開発投資、また情報化投資や新事業創出のためのM&A資金などに振り向けしており、将来においても収益力を向上させることを基本概念として、株主の皆様には還元できるものと考えております。

なお、当期配当につきましては、中間配当として1株当たり20円を実施いたしました。期末配当については1株当たり20円とし、年間で1株当たり40円とさせていただきます。

Q 株主の皆様へ一言お願いします。

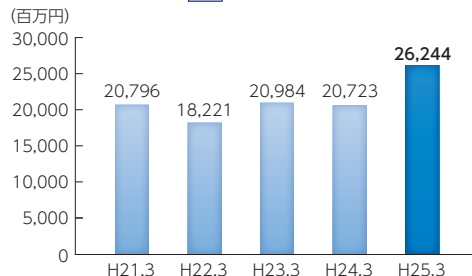
当社は、新たな価値創造に向けて挑戦し続けて行くとともに、お客様に信頼いただけるサービスや価値をご提供するために、社員一同が高い志と強い一体感を持って、皆様からのご信頼とご期待にお応えしてまいります。

今後とも、株主の皆様にはより一層のご支援とご鞭撻をたまわります様、よろしくごお願い申し上げます。

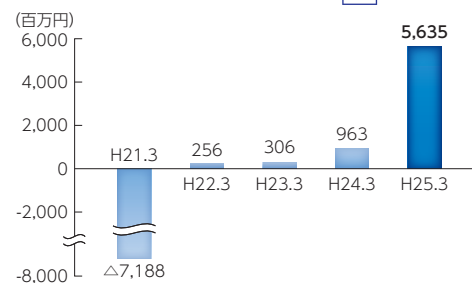
平成25年6月

連結業績の推移

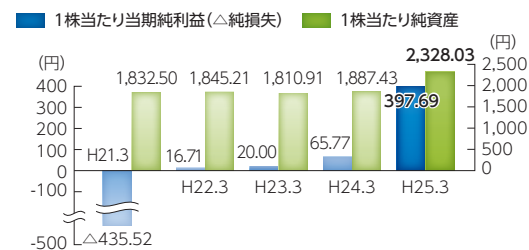
■ 連結売上高 …… 1



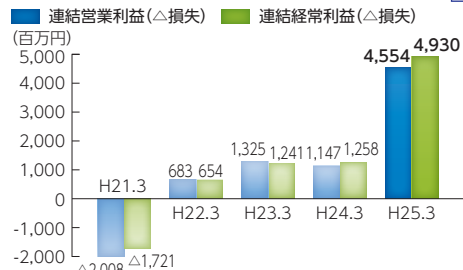
■ 連結当期純利益 (△純損失) …… 3



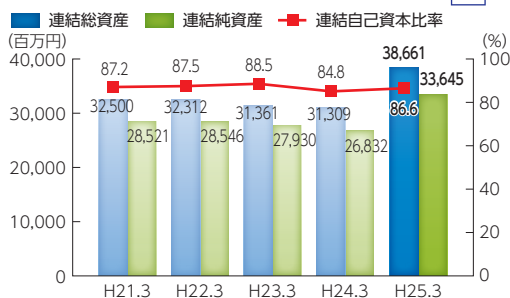
■ 1株当たり当期純利益 (△純損失) / 1株当たり純資産



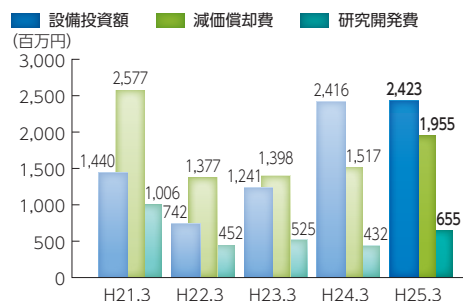
■ 連結営業利益 (△損失) / 連結経常利益 (△損失) …… 2



■ 連結総資産 / 連結純資産 / 連結自己資本比率 …… 4



■ 設備投資額 / 減価償却費 / 研究開発費



ポイント 1

当期における連結売上高は26,244百万円(前期比26.6%増)となりました。

ポイント 2

連結営業利益は4,554百万円(前期比297.0%増)、連結経常利益は4,930百万円(前期比291.9%増)となりました。

ポイント 3

連結当期純利益は5,635百万円(前期比485.1%増)となりました。

ポイント 4

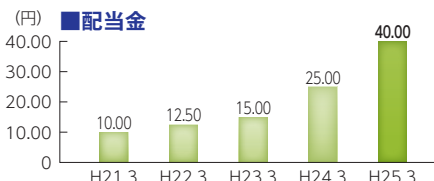
純資産は33,645百万円となり、その結果、自己資本比率は86.6%となり、前連結会計年度末比で1.8%増加しております。

利益還元について

**1株当たり
配当金40.00円**

当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また安定的配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績予想を勘案して中間配当を含む年間配当を1株当たり40.00円とさせていただきます。

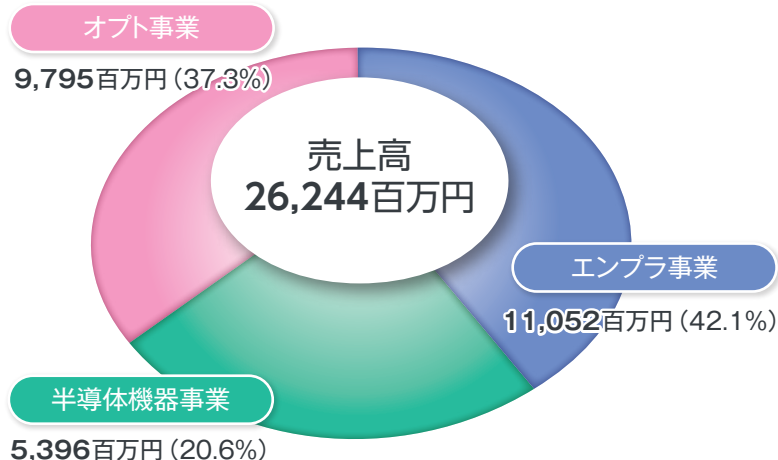
■ 配当金



事業別概況

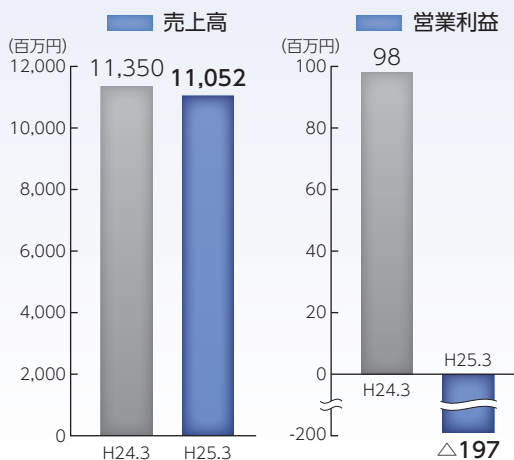
事業セグメント別売上高構成比 平成25年3月期 (平成24年4月1日から平成25年3月31日)

エンブラスの各事業は、先進のオプティクスやエレクトロニクス技術を、基盤テクノロジーであるエンブラ技術に融合し、設計から量産、そして品質保証まで含めた一貫体制システムで確かな品質を実現しています。



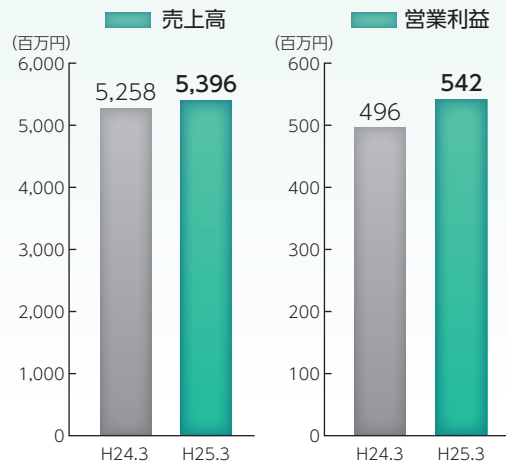
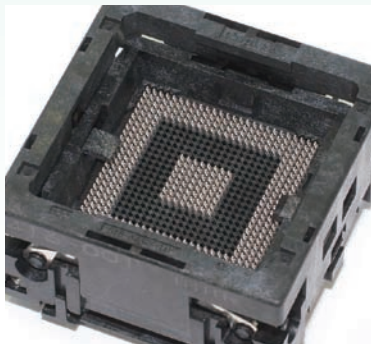
エンブラ事業

自動車用部品は、米国、アジアにて堅調に推移しましたが、プリンター用部品は世界的な需要の減速により低調に推移しました。また、上海新工場稼働開始に伴う初期費用が増加しました。この結果、当連結会計年度の売上高は11,052百万円（前期比2.6%減）、セグメント営業損失は197百万円（前期は98百万円のセグメント営業利益）となりました。



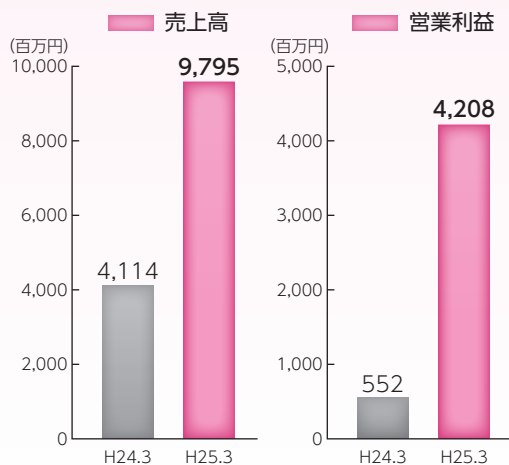
半導体機器事業

当上半期に好調だった海外向けの車載、CPU用途の受注が当下半期に悪化したものの、国内販売が新規製品の売上寄与により好調に推移しました。海外調達拡大によるコスト低減効果もあり、当連結会計年度の売上高は5,396百万円（前期比2.6%増）、セグメント営業利益は542百万円（前期比9.4%増）となりました。



オプト事業

主力のLED用拡散レンズは、LED光源液晶テレビの中でもコストメリットのある光源直下型タイプの採用が進んだことにより、当社レンズの搭載モデルがさらに拡大しました。この結果、当連結会計年度の売上高は9,795百万円（前期比138.1%増）、セグメント営業利益は4,208百万円（前期比661.2%増）となりました。



エンプラスの事業の中から、エンブラ事業、特にギヤ事業についてご紹介します

エンプラスは1963年、日本で初めてポリアセタール樹脂を使ったギヤの製品化に成功して以来、エンブラパーツの先駆者として常に技術の向上を追求してきました。そして、高機能素材エンジニアリングプラスチック技術をベースとし、ギヤなどの高精度・高機能プラスチック部品を世界に供給し続けています。

エンプラスの特色と強み

- プリンターや複写機などのOA機器に使用される高精度ギヤ。ハイレベルの耐熱性や耐久性が求められる自動車用部品に用いられる高剛性ギヤ。さらに、優れた静粛性を実現する低騒音ギヤ。これらのギヤは、世界の幅広いお客様から高い評価と信頼を得ています。
- 1/1,000mm単位の精度も確実に具現化できる金型加工技術と成型技術で、高機能プラスチックギヤを市場に提供しています。
- 数々の経験で培われてきた貴重な素材データをもとに、お客様が求める高度なニーズに対して、最高レベルの製品開発をお手伝いしています。
- 国内はもとより、アメリカ、欧州、アジア各都市に拠点を設けたグローバルネットワークを構築。ISO9001、QS9000の認証も各拠点で取得。

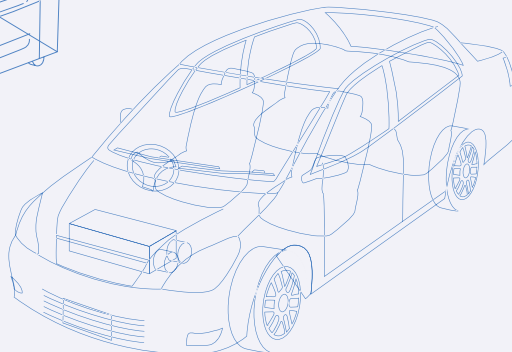
特機事業

- ターボチャージャー用樹脂インペラーやキャブレター用プラスチックフロートなど、これまで不可能と思われていた製品を、独自の金型・成型技術で開発し、製品化・量産化に成功しました。

円弧
ウォームホイール



まがりばかさ歯車



ターボインペラー

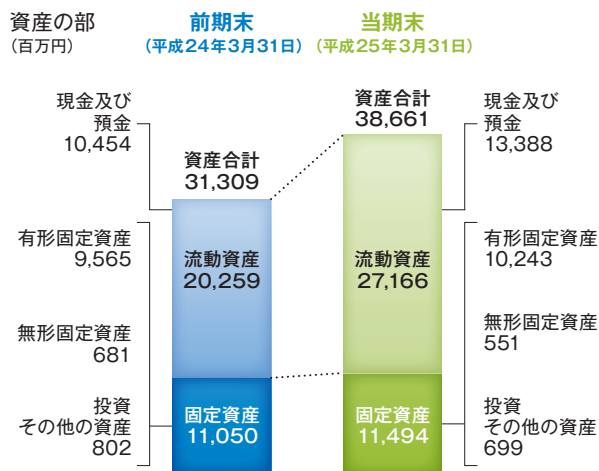


キャブレターフロート

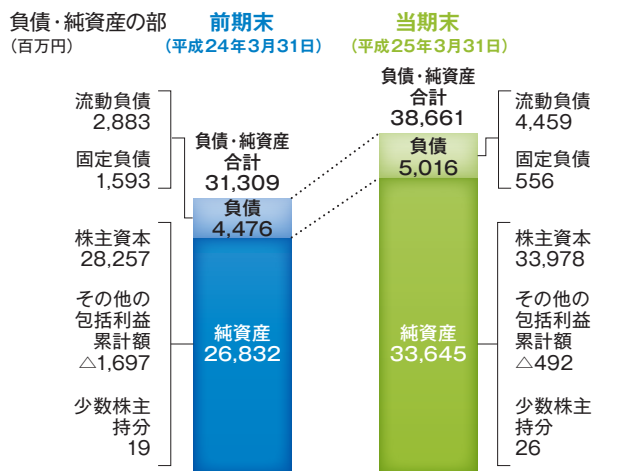
※エンブラ（エンジニアリングプラスチック）とは、特に強度に優れ、耐熱性のような特定の機能を強化してあるプラスチックのこと。

連結財務の状況

■ 連結貸借対照表の概要

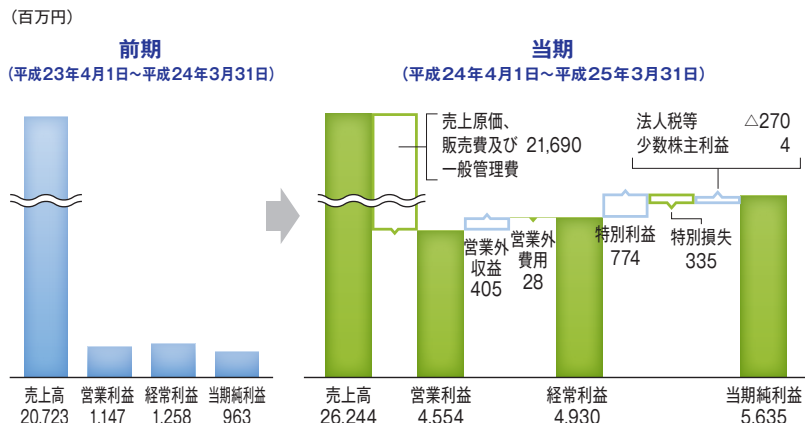


資産合計増加の主な変動要因は、現金及び預金で2,934百万円、有価証券で1,799百万円、繰延税金資産で1,140百万円、有形固定資産で678百万円増加したことなどによるものです。



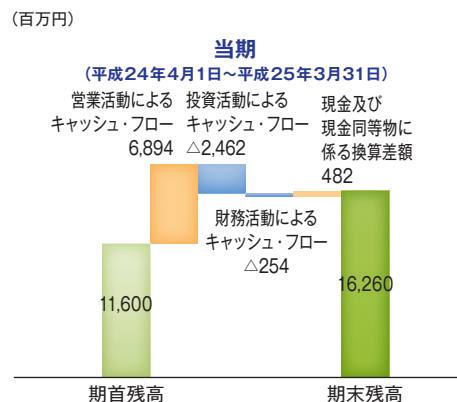
純資産は33,645百万円となり、前連結会計年度末比6,812百万円増加の主な変動要因は、利益剰余金で5,106百万円、為替換算調整勘定で1,180百万円増加したことによるものです。

■ 連結損益計算書の概要



連結売上高は26,244百万円(前期比26.6%増)となり、連結営業利益は4,554百万円(前期比297.0%増)、連結経常利益は4,930百万円(前期比291.9%増)、連結当期純利益は5,635百万円(前期比485.1%増)となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



当連結会計年度末における現金及び現金同等物は16,260百万円となり、前連結会計年度末に比べて、4,659百万円増加しました。

会社概要 / 株式情報

会社概要

商号 株式会社エンプラス
所在地 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
設立 1962年2月21日
資本金 80億8,045万円

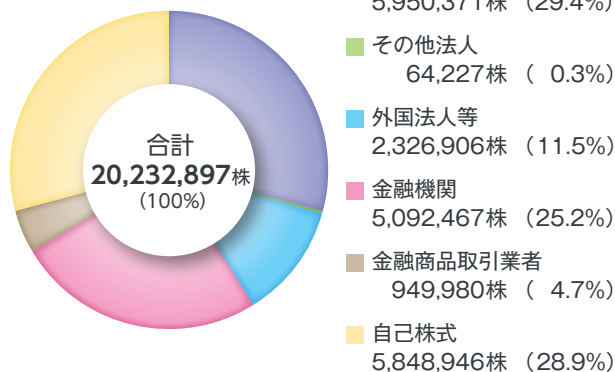
役員

代表取締役社長	横田 大 輔
取締役	酒井 崇
取締役	菅原 昇
取締役	菊地 豊
取締役	丸山 良次
取締役	田宮 義男
取締役	長谷川 一郎
常勤監査役	手嶋 晴 幾
監査役	檀原 武
監査役	落合 栄

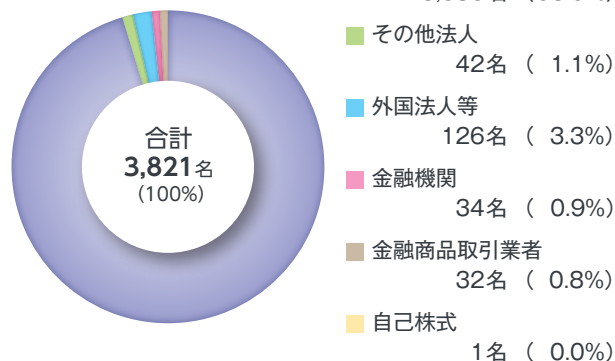
株式情報

発行可能株式総数 62,400,000株
発行済株式総数 20,232,897株
株主数 3,821名
所有者別株式分布状況

所有者別株式数



所有者別株主数



株主メモ/ホームページ紹介

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社本店および全国各支店で行っております。
郵便物送付先、連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター（お問い合わせ先） ☎0120-49-7009
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 (http://www.enplas.com) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。 貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET (http://info.edinet-fsa.go.jp/)にて開示しております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

■ホームページトップ画面



エンプラス

検索

■投資家情報画面



エンプラス IR

検索

ホームページ上では会社概要、財務情報をはじめ業務内容やプレスリリースなど最新の情報を幅広くお知らせしています。ぜひご覧ください。

■住所変更・単元未満株式の買取等のお申し出について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

■未支払配当金のお支払について

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

拠点・グループ会社

技術の絆。信頼の絆。活躍の舞台はグローバルです。

アジア、アメリカ、ヨーロッパにある世界拠点を結ぶグローバルネットワークによって24時間稼働し続ける「エンプラス」グループ。こうしたグローバルネットワークを通じて、企画・開発段階から、各産業界のトップメーカーと技術に裏打ちされた信頼のパートナーシップを構築。世界企業としてエンプラスは、さらに大きく羽ばたこうとしています。



国内拠点

本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号

鹿沼工場

栃木県鹿沼市さつき町7番2

名古屋営業所

愛知県名古屋市中村区名駅2丁目45番7号
松岡ビル3階

国内グループ会社

株式会社エンプラス研究所

埼玉県川口市並木2丁目38番5号

QMS株式会社

埼玉県川口市上青木1丁目3番12号

■ 西日本営業所

大阪府大阪市淀川区宮原2丁目14番4号
MF新大阪ビル9階

株式会社エンプラス半導体機器

埼玉県川口市上青木1丁目19番57号

■ 九州営業所

福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目2番3号
博多駅前第1ビル2階

株式会社エンプラス ディスプレイ デバイス

埼玉県川口市並木2丁目30番1号
(平成24年4月2日に設立を致しました。)

海外グループ会社

Enplas (U.S.A.) , Inc.

1901 West Oak Circle, Marietta, Georgia 30062, U.S.A.

Enplas Tech Solutions, Inc.

1225 Innsbruck Dr., Sunnyvale, CA 94089-1317, U.S.A.

Enplas Hi-Tech (Singapore) Pte. Ltd.

No.28 Genting Lane, #07-03/04/05, Singapore 349585, Republic of Singapore

Enplas Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

No.9&9A Jalan Hasil 2, Kawasan Perindustrian, Jalan Hasil 81200 Johor Bahru, Malaysia

Enplas Precision (Thailand) Co., Ltd.

Hi-Tech Industrial Estate 104 Moo 1, Bhan Lain, Bang Pa-In, Ayutthaya 13160, Thailand

Pinthong Factory (Thailand)

Pinthong Industrial Estate 2 150/30 Moo 9, Tambol Nongkham, Amphur Sriracha, Chonburi 20110, Thailand

Enplas (Vietnam) Co., Ltd.

K-3 Plot, Thang Long Industrial Park, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam

Enplas Electronics (Shanghai) Co., Ltd.

Standard Building 85, No.177, Yi Wei Road,
Shanghai Waigaoqiao Free Trade Zone, Shanghai 200131, PRC

Guangzhou Enplas Mechatronics Co., Ltd.

Floor1, Standard Building 1, Hexing Industry Park, 10 Yongsheng Road,
Yong He Economic Zone, Guangzhou Economic & Technological Development District,
Guangzhou City 511356, P.R.C.

Enplas Niching Technology Corporation

4F-1, No.27 Puding Road, Hsinchu City, 300 Taiwan, R.O.C.

Enplas (Hong Kong) Limited

Suite 515, 5/F World Commerce Centre, Harbour City, 11 Canton Road, Tsim Sha Tsui,
Kowloon, Hong Kong

PT.Enplas Indonesia

Kawasan Industri Jababeka Tahap 3 Jl. Tekno Boulevard Blok 6 F
Desapasirgombong, Kec. Cikarang Utara, Bekasi 17550, Indonesia

Korea Branch

#710, Hyundai Office Building, 240-3, Hwangsaeul-ro, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do,
463-783, Korea

株式会社エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号

Tel : 048-253-3131 (代表) Fax : 048-255-1688

http://www.enplas.com



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

